

まつぼっくり



平成29年3月17日 発行

校長 蔦林洋司

卒業おめでとうございます！

黒土や木の芽に春の匂いが感じられるよい季節となりました。本校を巣立つ卒業生44名の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

最高学年としての1年間、子どもたちは児童会のリーダーとして下級生を牽引し、心に残る活躍を見せました。中でも今年の運動会はほんとうに感動しました。穏やかな天気恵まれ、どの競技でも熱戦が繰り広げられ、総合得点も抜きつ抜かれつの大接戦。騎馬戦の戦いも白熱しました。わずか2点差で白組の優勝、赤組の準優勝が発表されると、どちらの組にも涙ぐむ子どもがいました。私も涙をもらい、応援団長の工藤君と下田中君に優勝旗と準優勝杯を手渡すときにかけた言葉は、詰まって声になりませんでした。



～夢・勇気・努力～

感動を呼んだのは2点という点差もありますが、特に6年生が、自分の競技以外に応援団や係の仕事を担当して、精いっぱい働きよくがんばったからだと思います。

先輩を超えようとがんばった学習発表会のオペレッタ「ごんぎつね」や敬老会の出し物、6年生を送る会でのパフォーマンスも、やるときにはしっかり力を発揮する子どもたちでした。6年間で自分の心を豊かにし、心も体もたくましく成長しました。これからも夢と前に進む勇気を持ち、努力し続けることを願っています。

保護者の皆様、これまでPTA活動や学級の行事など、たくさんのお力添えいただきましてほんとうにありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

職員一同、お子様の晴れの門出を心から祝福いたします。中学校での活躍を大いに期待してやみません。

ありがとうを伝えるプロジェクト

6年生が『ありがとうを伝えるプロジェクト』を立案し、3月に入って下級生の学習補助、読み聞かせ、ミシンで雑巾作りなどのボランティアに取り組みました。先生方へのメッセージカードも一人一人もらいました。先生たちの特徴をよくとらえ優しい感謝の言葉がありました。

作った雑巾を寄贈する6年生



6年生と食事会



3週間にわたって、6年生全員と卒業記念の昼食会をしました。小学校の思い出や中学校での目標、将来の夢などを聞かせてもらいました。

どの子もたくさんおしゃべりをしてくれて、給食時間があっという間に過ぎました。